

宇治

茶どころとして全国的に有名な町。
さらに『源氏物語』宇治十帖の舞台としても知られます。



宇治橋

奈良と京都を結ぶ交通の要として宇治川に架かる橋。承久の乱をはじめ、何度も歴史的な合戦の舞台になりました。日本三古橋のひとつであり、初代の橋は646(大化2)年に架けられたと伝えられています。

◎宇治市宇治東内[京阪電車 宇治駅下車すぐ]



市営茶室 対鳳庵

宇治市が運営する本格的な茶室。茶道連盟の各流派の先生によるお点前で、宇治茶とお菓子をいただくことができます。お点前は日替わりで、抹茶と煎茶があります。

宇治市宇治塔川2 [京阪電車 宇治駅下車 徒歩約10分]
◎0774-23-3334(宇治市観光協会) ◎10時~16時
◎一客 1,000円~ ◎12/21(水)~2023.1/9(月・祝)



宇治市源氏物語ミュージアム

紫式部による『源氏物語』最後の十帖である「宇治十帖」の世界を模型や映像を使ってわかりやすく解説する博物館です。当時のきらびやかな世界が見事に再現されています。

宇治市宇治東内45-26 [京阪電車 宇治駅下車 徒歩約8分]
◎0774-39-9300 ◎9時~17時(入館は16時30分まで)
◎600円 ◎月曜定休(祝日の場合は翌日)・年末年始



宇治&八幡 おすすめスポット

宇治、そして八幡の散策を楽しむなら、こんなスポットはいかがでしょう。

八幡

国宝 石清水八幡宮の門前町。
三川合流域や男山など、自然の豊かさでも知られます。



松花堂庭園・美術館

石清水八幡宮の社僧・松花堂昭乗が結んだ草庵のほか、3つの本格的な茶室があります。美術館では八幡市にゆかりのある展覧会等が行われます。京都吉兆 松花堂店も併設されています。

八幡市八幡女邸花43-1 [京阪電車 石清水八幡宮駅または榑葉駅から京阪バス大芝・松花堂前下車すぐ]
◎075-981-0010 ◎9時~17時(入館は16時30分まで)
◎庭園100円~・美術館400円~ ◎月曜定休(祝日の場合は翌日)・12/27(火)~2023.1/4(水)



流れ橋(上津屋橋)
やわら流れ橋交流プラザ 四季彩館

木津川に架かる日本最長級の木橋で、増水時には床板が流れる仕組みになっていることから「流れ橋」と親しまれています。宿泊や入浴ができる四季彩館には、レストランや地元野菜の直売所も併設されています。

八幡市上津屋里内56番地の1 [京阪電車 石清水八幡宮駅から京阪バス上津屋流れ橋下車すぐ]
◎075-983-0129 ◎10時~21時(入浴は20時30分受付終了)
◎夏休み期間を除く月曜定休(祝日の場合は翌日)・年末年始



正法寺

石清水八幡宮への幣使としてやってきた、源頼朝の御家人・高田蔵人忠国によって開かれました。後に徳川家康公の側室、お亀の方の菩提寺として発展しました。鎌倉時代の巨大な阿弥陀如来坐像(重要文化財)が見どころです。

八幡市八幡清水井73 [京阪電車 石清水八幡宮駅から京阪バス走り下車 徒歩3分]
◎075-981-0012 ◎10時30分~15時(4/2[土]・3[日]の公開日のみ) ◎拝観料700円

京から鎌倉へ

スタンプラリー 宇治・八幡編

宇治と八幡、それぞれにあるスタンプポイントでスタンプを集めましょう。2つ集めたら、パンフレット中面の応募台紙に必要事項を記入してスタンプポイントにある応募箱に入れてください。抽選でプレゼントが当たります!

スタンプポイント①



◎お茶と宇治のまち歴史公園 茶づな

宇治のまちの歴史と宇治茶のことを楽しみながら深く知ることのできる施設。茶臼を使った抹茶作りなどの体験プログラムが充実しています。
※体験プログラムへの参加は事前の予約をおすすめします

宇治市英道丸山203-1 [京阪電車 宇治駅下車 徒歩約5分]
◎0774-24-2700 ◎9時~17時(館内ミュージアムの最終入場時間は16時30分) ◎入館無料(ミュージアム600円・体験プログラムは別途有料) ◎無休

スタンプポイント②



◎石清水八幡宮(お守り授与所)

八幡市の名称の由来ともなった石清水八幡宮は、860(貞観2)年に創建されました。日本最大かつ最古の八幡造の社殿として知られる本殿は国宝に指定されています。

八幡市八幡高坊30 [石清水八幡宮参道ケーブル ケーブル八幡宮山上駅下車 徒歩約5分]
◎075-981-3001 ◎お守り授与所 9時~16時(境内は自由) ◎昇殿参拝 毎日11時・14時(初穂料1,000円)

応募期間 2022年3月22日(火)~5月8日(日)
※当選の発表は商品の発送をもってかえさせていただきます。

賞品 宇治市賞
ちはや姫人形と宇治市産
抹茶のセット...5名様



八幡市賞
八幡市特産品「ヤワカラ」
詰合せ...5名様



主催:宇治市/八幡市/京阪ホールディングス株式会社

お問い合わせ:◎宇治市観光課 0774-39-9408(平日8時30分~17時) ◎八幡市環境経済部商工観光課 075-983-2859(平日8時30分~17時15分)
◎京阪電車お客さまセンター 06-6945-4560(平日9時~19時/土日19時~17時[12/30~1/3は除く])

※新型コロナウイルス感染症拡大に伴い政府から緊急事態宣言が出された場合等、主催者の判断によりイベントを中止する場合があります
※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、おでかけの際はマスクの着用/手洗いやアルコール消毒などの徹底にご協力をお願いいたします。交通機関の混雑等は、変更される場合があります

京から鎌倉へ ~武士の世への道 一の段



源三位頼朝宇治橋合戦組上
(部分・宇治市歴史資料館蔵)

スタンプを集めて
プレゼントに応募しよう!

京から鎌倉へ スタンプラリー

宇治・八幡編

3月22日(火)~5月8日(日)

時代の大転換！武士の世の始まり

平安時代は朝廷と貴族が中心の時代でした。続く、鎌倉時代では貴族に変わって武士が台頭します。都であった平安京の南の町、宇治と八幡では、貴族から武家へと政権が変わる混乱の軌跡を追うことができます。

日本で最初の幕府を開いたのは？

日本ではじめてとなる幕府を打ち立てたのは源頼朝です。源氏の棟梁・源義朝の三男として誕生し、平治の乱で義朝が平清盛に敗れたために伊豆国（現在の静岡県）に流罪となりますが、1180（治承4）年、平家追討の兵を挙げます。戦いに次ぐ戦いの後、1185（文治元）年3月の壇ノ浦の戦いで平家が滅亡。1192（建久3）年、頼朝は征夷大將軍に任命され、我が国初の武家政権である鎌倉幕府を樹立したのです。



「八幡太郎義家社参之図」石清水八幡宮蔵



境内に残る「頼朝松」。初代の松は頼朝が鎌倉から持参したという（山麓駐車場南側）



国宝に指定されている石清水八幡宮舞殿・舞殿

源氏の心の聖地
頼朝ゆかりの松が残る

石清水八幡宮

源頼朝を輩出した「清和源氏」は、八幡神を氏神として厚く信仰しました。清和天皇は858（天安2）年、わずか9歳で即位しましたが、翌年、宇佐八幡宮の八幡神が自ら託宣し、現在の地である男山に遷座して成立したのが石清水八幡宮です。その約200年後、石清水八幡宮で元服したことから「八幡太郎」と名乗った源義家は、前九年・後三年の役で父・頼義とともに勝利し、「天下第一武勇の士」として武家の棟梁の地位を確立します。その四代後の頼朝も八幡神を厚く崇敬し、平家追討の令旨を受け取るに際し石清水八幡宮を選擇したと伝わります。

年表

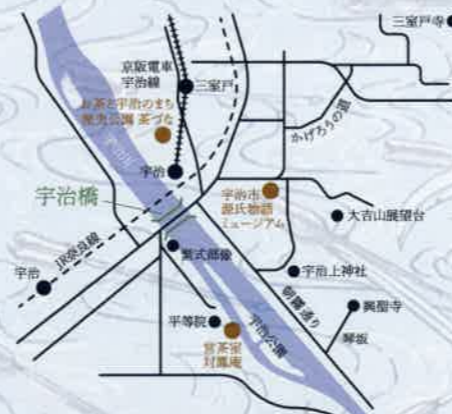
- 1159（平治元）年 平治の乱
- 1160（永暦元）年 源頼朝、伊豆へ流罪
- 1167（仁安2）年 平清盛が太政大臣に任命される
- 1179（治承3）年 平清盛が後白河法皇を幽閉
- 1180（治承4）年 以仁王が平家追討の令旨を出す
源頼朝、挙兵
- 1181（養和元）年 平清盛没
- 1184（元暦元）年 宇治川・粟津の戦い
一ノ谷の戦い
- 1185（文治元）年 屋島の戦い
壇ノ浦の戦い（平家滅亡）
- 1189（文治5）年 奥州征伐
- 1190（建久元）年 源頼朝、上洛
権大納言右近衛大将就任
- 1192（建久3）年 後白河法皇没
源頼朝、征夷大將軍になる
- 1199（正治元）年 源頼朝没
- 1205（元久2）年 北条義時、執権の座につく
- 1219（承久2）年 源実朝没
- 1221（承久3）年 承久の乱

5月上旬に
期間限定で
公開予定!

鎌倉幕府の指示によって執権の地位にあった北条義時の花押がある「関東下知状」
（重要文化財 / 石清水八幡宮蔵）

武家政権が確立したのはいつごろ？

源頼朝によって武士の世が本格的にスタートしたといっても、生まれたばかりの武家政権はおぼつかないものでした。特に、三代將軍実朝には実子がなかったため、実朝の死後、鎌倉政権は混乱を極めます。そこで立ちあがったのが京の都にいた後鳥羽上皇。当時、幕府の実権を握っていた北条義時を追討しようと兵を挙げたのです。しかし、頼朝の妻であり、尼將軍とも呼ばれた北条政子の奮闘により、幕府軍が圧勝。この承久の乱の勝利によって、武家政権が磐石なものとなりました。日本では約700年もの間、武士の時代が続きます。



大河ドラマ「鎌倉殿の13人」
スペシャルトークショー in 宇治
4月29日（金・祝）開催！
（主催：NHK京都放送局・宇治市）
詳細はこちら▶



木曾義仲追討の宇治川の戦いを描いた絵図。権原景季と佐々木高綱の先陣争いのエピソードで有名。承久の乱の際にも、同様の先陣争いがあったといわれる（宇治市歴史資料館蔵）

承久の乱における最終地点
本格的な武家政権のきっかけに

宇治川

1180（治承4）年の以仁王の挙兵や、1184（元暦元）年に起こった宇治川の戦いなど、幾度も合戦の舞台となった宇治川は、後鳥羽上皇の宣旨によって戦いの火蓋が切られた承久の乱でも上皇軍の最後の砦となりました。前日から降り続く雨で、川は大荒れ。上皇軍は幕府軍が川を渡れないように、宇治橋の橋板を外して応戦しましたが、数で勝る幕府軍が近隣の民家を壊して急造の筏をつくって川を渡ったところで上皇軍の敗北が決まりました。

京から鎌倉へ スタンプラリー 宇治・八幡編 —プレゼント応募台紙—

スタンプを2つ集めたら、以下の必要事項をご記入の上、切り取って応募箱に入れてください。

お名前

ご住所

年齢

スタンプポイント①

お茶と宇治のまち歴史公園 茶づな

スタンプポイント②

石清水八幡宮（お守り授与所）